



がつ にち き と ちょうかい
6月22日（聞き取り朝会）

ほん たいせつ
「本の大切さ」

まちだしりつただおだいさんしょうがっこう
町田市立忠生第三小学校

こうちょう にしくほりつこ
校長 西久保律子

おはようございます。先週から「通常の授業」が始まりました。どのクラスも、友達
と協力して、勉強したことと思います。今週も、お友だちと仲良しになってください。

そして、今週は「読書週間」ですね。みなさん、学校がお休みの時本をたくさん読みま
したか。

今日は、「本をたくさん読むと、どういう良いことがあるのか？」というお話をします。

① 1番目の良いことは、本を読むと、いろいろなことがわかります。簡単には行けない深
い海の底の様子や、遠い宇宙の様子。それに、いろいろな外国の様子なども写真つきでのっ
ている本もあります。ほかにも、動物図鑑や植物図鑑などには、たくさんの動物や植物が

しょうかい
紹介されているので、とても勉強になります。

② 2番目の良いことは、「本を読むと、考える力が身につきます。」ということです。みなさんが本を読んでいるときには、自分の頭で想像しながら、まるで自分が経験しているような気持ちで読んでいます。みなさんの考える力を高めてくれるのです。

③ 3番目の良いことは、本を読むと新しい言葉をたくさん覚えるので、友達ちに分かりやすく話ができるようになり、人の話を聞いているときにも、その人が何を伝えたいのかが良くわかるようになります。

まだまだほかにも、本を読むことの良さは、たくさんありますが、今日はここまでの紹介にしておきます。みなさんも是非、本を読むと、どういう良いことがあるのか、考えてみてください。「本は心のご飯」とか、「読書は心の栄養」という言葉があります。図書室は毎日開いているので、これからもたくさん本を借りて読んでください。たとえば1週間に1冊読んだとしても、1年間には50冊以上読んだことになります。みなさんも1か月に何冊の本を読むか、目標を決めてみるといいですね。

